

品質管理検定レベル表

◆受検されるみなさまへ — レベル表の見方について◆

・3 級の場合、3 級に加えて 4 級の範囲を含んだものが 3 級の試験範囲とお考えください。

※凡例 — 必要に応じて、次の記号で補足する内容・種類を区別します。
 () : 注釈や追記事項を記しています。
 《 》 : 具体的な例を示しています。例としてこの限りではありません。
 【 】 : その項目の出題レベルの程度や範囲を記しています。

級	認定する知識と能力のレベル	対象となる人材像	試験範囲	
			品質管理の実践	品質管理の手法
3 級	<p>QC 七つ道具については、作り方・使い方をほぼ理解しており、改善の進め方の支援・指導を受ければ、職場において発生する問題を QC 的問題解決法により、解決していくことができ、品質管理の実践についても、知識としては理解しているレベルです。</p> <p>基本的な管理・改善活動を必要に応じて支援を受けながら実施できるレベルです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 業種・業態にかかわらず自分たちの職場の問題解決を行う全社員《事務、営業、サービス、生産、技術を含むすべて》 品質管理を学ぶ大学生・高専生・高校生 	<p>■QC 的ものの見方・考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケットイン, プロダクトアウト, 顧客の特定, Win-Win ・品質優先, 品質第一 ・後工程はお客様 ・プロセス重視 (品質は工程で作るの広義の意味) ・特性と要因, 因果関係 ・応急対策, 再発防止, 未然防止, 予測予防【定義と基本的な考え方】 ・源流管理 ・目的志向 ・QCD+PSME ・重点指向《選択, 集中, 局部最適》 ・事実に基づく活動, 三現主義 ・見える化《管理のためのグラフや図解による可視化》, 潜在トラブルの顕在化【定義と基本的な考え方】 ・ばらつきに注目する考え方 ・全部門, 全員参加 ・人間性尊重, 従業員満足(ES) <p>■品質の概念【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質の定義 ・要求品質と品質要素 ・ねらいの品質とできばえの品質 ・品質特性, 代用特性 ・当たり前品質と魅力的品質 ・サービスの品質, 仕事の品質 ・社会的品質【定義と基本的な考え方】 ・顧客満足(CS), 顧客価値【言葉として】 <p>■管理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持と管理【定義と基本的な考え方】 ・PDCA, SDCA, PDCAS ・継続的改善【定義と基本的な考え方】 ・問題と課題【定義と基本的な考え方】 ・問題解決型 QC ストーリー ・課題達成型 QC ストーリー【定義と基本的な考え方】 <p>■品質保証：新製品開発【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果の保証とプロセスによる保証 ・保証と補償【言葉として】 ・品質保証体系図【言葉として】 ・品質機能展開【言葉として】 ・DR とトラブル予測, FMEA, FTA【言葉として】 ・品質保証のプロセス, 保証の網(QA ネットワーク)【言葉として】 ・製品ライフサイクル全体での品質保証【言葉として】 ・製品安全, 環境配慮, 製造物責任【言葉として】 ・市場トラブル対応, 苦情とその処理 <p>■品質保証：プロセス保証【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業標準書 ・プロセス(工程)の考え方 ・QC 工程図, フローチャート【言葉として】 ・工程異常の考え方とその発見・処置【言葉として】 ・工程能力調査, 工程解析【言葉として】 ・検査の目的・意義・考え方(適合, 不適合) ・検査の種類と方法 ・計測の基本【言葉として】 ・計測の管理【言葉として】 ・測定誤差の評価【言葉として】 ・官能検査, 感性品質【言葉として】 <p>■品質経営の要素：方針管理【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方針(目標と方策) ・方針の展開とすり合せ【言葉として】 ・方針管理のしくみとその運用【言葉として】 ・方針の達成度評価と反省【言葉として】 <p>■品質経営の要素：日常管理【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務分掌, 責任と権限 ・管理項目(管理点と点検点), 管理項目一覧表 ・異常とその処置 ・変化点とその管理【言葉として】 	<p>■データの取り方・まとめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの種類 ・データの変換 ・母集団とサンプル ・サンプリングと誤差 ・基本統計量とグラフ <p>■QC 七つ道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレート図 ・特性要因図 ・チェックシート ・ヒストグラム ・散布図 ・グラフ(管理図別項目として記載) ・層別 <p>■新 QC 七つ道具【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親和図法 ・連関図法 ・系統図法 ・マトリックス図法 ・アローダイアグラム法 ・PDPC 法 ・マトリックス・データ解析法 <p>■統計的方法の基礎【定義と基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規分布(確率計算を含む) ・二項分布(確率計算を含む) <p>■管理図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理図の考え方, 使い方 ・$\bar{X}-R$ 管理図 ・p 管理図, np 管理図【定義と基本的な考え方】 <p>■工程能力指数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程能力指数の計算と評価方法 <p>■相関分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相関係数

			<ul style="list-style-type: none">■品質経営の要素：標準化【言葉として】<ul style="list-style-type: none">・標準化の目的・意義・考え方・社内標準化とその進め方・工業標準化, 国際標準化■品質経営の要素：小集団活動【定義と基本的な考え方】<ul style="list-style-type: none">・小集団改善活動(QCサークル活動など)とその進め方■品質経営の要素：人材育成【言葉として】<ul style="list-style-type: none">・品質教育とその体系■品質経営の要素：品質マネジメントシステム【言葉として】<ul style="list-style-type: none">・品質マネジメントの原則・ISO9001	
--	--	--	--	--